

平成23年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2011 - A - 01 (1411)

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文：ネットワーク MT 法観測による広域深部比抵抗構造の解明英文：Prospecting Nation-Wide Deep Resistivity Structure by Network-MT Survey4. 研究代表者所属・氏名 東京大学地震研究所・上嶋 誠(地震研究所担当教員名) 上嶋 誠

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日 数	旅費 支給
上嶋 誠	東大地震研究所・准教授	代表	通年度	50	無
村上 英記	高知大教育研究部・准教授	観測・データ解析	通年度	10	無
山口 覚	大阪市大理学部・教授	観測・データ解析	通年度	10	有
丹保 俊哉	立山カルデラ博・研究員	観測	通年度	10	有
小村 健太朗	防災科技研・主任研究員	観測	通年度	10	有
望月 裕峰	東大地震研究所・技術職員	データ監視	通年度	10	無
吉村 令慧	京大防災研究所・助教	観測・データ解析	通年度	10	無
塩崎 一郎	鳥取大学工学部・准教授	データ解析	通年度	10	無
市原 寛	JAMSTEC・研究員	観測	通年度	5	無
畑 真紀	京大理学系研究科・博士課程	データ解析	通年度	100	無

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード：比抵抗，地殻活動域，広域深部，ネットワークMT法，MT法

・本年度における観測研究

まず，参照磁場観測点として京大防災研上宝地殻変動観測壕内，中竜鉦山坑道内，輪島観測点での3成分磁場観測を継続し，新たに根尾観測点を設置した。また，濃尾地震断層域で観測を予定していた岐阜県13エリア，福井県7エリアのうち，2011年3月に設置した岐阜県10エリアでの観測を継続すると共に，2011年6月より岐阜県3エリア，福井県7エリアでの観測を開始した。

・データの解析 (広帯域MT観測データも含む)

昨年度までに得られた北海道中東部，東北地方，中部地方ひずみ集中帯周辺域，紀伊半島，九州における成果をまとめるべくデータの整備や解析をおこなった。このうち，北海道中東部や九州における2，3次元解析からは，ウェッジマントル中にスラブから火山フロントに向けて立ち上るかのような低比抵抗域が決定された。

7. 研究実績報告（公表された成果のリスト*¹または2000～3000字の報告書）

1) 沈み込み帯での流体の移動と部分溶融：Network-MT 法データによる広域比抵抗イメージング
畑真紀、大志万直人、吉村令慧、上嶋誠

日本地球惑星科学連合 2011 年大会 sem037-08

2011/5/22-27(発表：5/26)

無（2 point）

2) 沈み込み帯での流体の移動と部分溶融：Network-MT 法データによる広域比抵抗イメージング
畑真紀、大志万直人、吉村令慧、田中良和、上嶋誠

日本火山学会 2011 年度秋季大会 P63

2011/10/2-4(発表：10/2)

無（2 point）

3) 濃尾地震断層周辺におけるネットワーク MT 観測について（序報）
上嶋誠、山口覚、村上英記、丹保俊哉、吉村令慧、市原寛、小村健太郎

地球電磁気・地球惑星圏学会 2011 年秋学会 A003-P005

2011/11/3-6(発表：11/4)

無（2 point）

4) Network-MT 法データによる九州地方の広域比抵抗構造の推定（2）
畑真紀、大志万直人、吉村令慧、田中良和、上嶋誠

- 沈み込み帯での火山形成イメージング -

地球電磁気・地球惑星圏学会 2011 年秋学会 A003-04

2011/11/3-6(発表：11/5)

無（2 point）